

レジメン名

ramcircumab単独療法

出典 サイラムザ適正使用ガイド
 Lancet. 2014 Jan 4;383(9911):31-9
 サイラムザ添付文書2020年11月改訂

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
--	--	-----------------------------

対象疾患

胃がん
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前・術後) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

1コース期間 14日

総コース数 PDまで

(次のコースまでの標準期間)

●サイラムザの用法・用量調節基準、中止基準

- 投与速度の変更
 - ・グレード[®] 1又は2の infusion reaction の発現
- 投与中断
 - ・手術を予定している患者
 - ・創傷治癒による合併症の発現 (創傷が治癒するまで投与中止)
 - ・症候性のグレード[®] 2、又はグレード[®] 3以上の高血圧の発現 (降圧剤による治療を行い、血圧がコントロールできるようになるまで休薬)
 - ・1日尿蛋白量 2 g 以上 3 g 未満[®] の蛋白尿の発現 (1日尿蛋白量 2 g 未満[®] に低下するまで休薬し、再開する場合は減量)
- 投与中止
 - ・動脈血栓塞栓症の発現
 - ・静脈血栓塞栓症の発現
 - ・グレード[®] 3又は4の infusion reaction の発現
 - ・消化管穿孔の発現
 - ・重度 (グレード[®] 3又は4) の出血の発現
 - ・うっ血性心不全の発現
 - ・瘻孔の発現
 - ・可逆性後白質脳症候群 (痙攣、頭痛、錯乱、視覚障害等) の発現
 - ・降圧剤による治療を行ってもコントロールできない、症候性のグレード[®] 2、又はグレード[®] 3以上の高血圧の発現
 - ・1日尿蛋白量 3 g 以上[®] の蛋白尿、又はネフローゼ症候群の発現

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
ラムシルマブ(サイラムザ)	8mg/kg	生食250mL	60分 [※]	day1, 15
※初回60分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				

1日投与順
 (経時的にプレ Medikation・
 ポスト Medikation、溶解液まで含む)

day1, 15

①ポララミン5mg＋生食100mL(15分)

②サイラムザ8mg/kg＋生食250mL(60分[※])
 (2回目以降30分まで短縮可)
 インラインフィルターを用いて投与

③生食50mL(フラッシュ用)